

物部川流砂系における 総合土砂管理の取組方針

令和8年2月19日

物部川流砂系総合土砂管理検討協議会

物部川流砂系における総合土砂管理の取組方針

流砂系の現状と課題に対応した取組方針

土砂動態の現状

現状の対策

課題点

当面の取組み

土砂生産域

土砂災害の頻発

- 砂防・治山事業
- 国有林の管理
- 民有林の管理啓発・整備支援

対象範囲が広く、継続的な事業実施が必要

- 砂防・治山事業の継続
- 国有林の管理の継続
- 民有林の管理啓発・整備支援の継続

活発な土砂生産・流出

対象範囲が広く、要因も多岐にわたるため、効果的な対策の検討が必要

(現在の対策の継続)

ダム領域

ダム堆砂の進行
(永瀬ダム、杉田ダム)

貯水池の維持掘削

現状の対策は、貯水池機能保全に不十分であり抜本的な対策が必要

- 貯水池の維持掘削の継続
- 長期的堆砂対策施設の検討

濁水の長期化

- 分画フェンス+高圧バルブ、選択取水による濁水の早期排出
- 濁水対策検討会による取組

- 濁水発生メカニズムの解明
- 濁水長期化の実態把握

- 濁水軽減対策の継続
- 抜本的な濁水軽減対策の検討

(新たな対策の取組)

[] : 物部川濁水対策検討会にて実施する内容

河道領域

- 局所洗掘、河道二極化、粗粒化
- 瀬・淵環境の減少

- 河道掘削、樹木伐採
- 局所洗掘対策

治水面・河川利用面・環境面への配慮が必要

治水面・河川利用面・環境面に関する土砂動態を改善するための方策の検討

(現在進行中の課題への取組)

海岸領域

海岸侵食の進行

海岸侵食対策事業

砂浜幅の回復・維持

- 海岸侵食対策の継続

(現在の対策の継続)

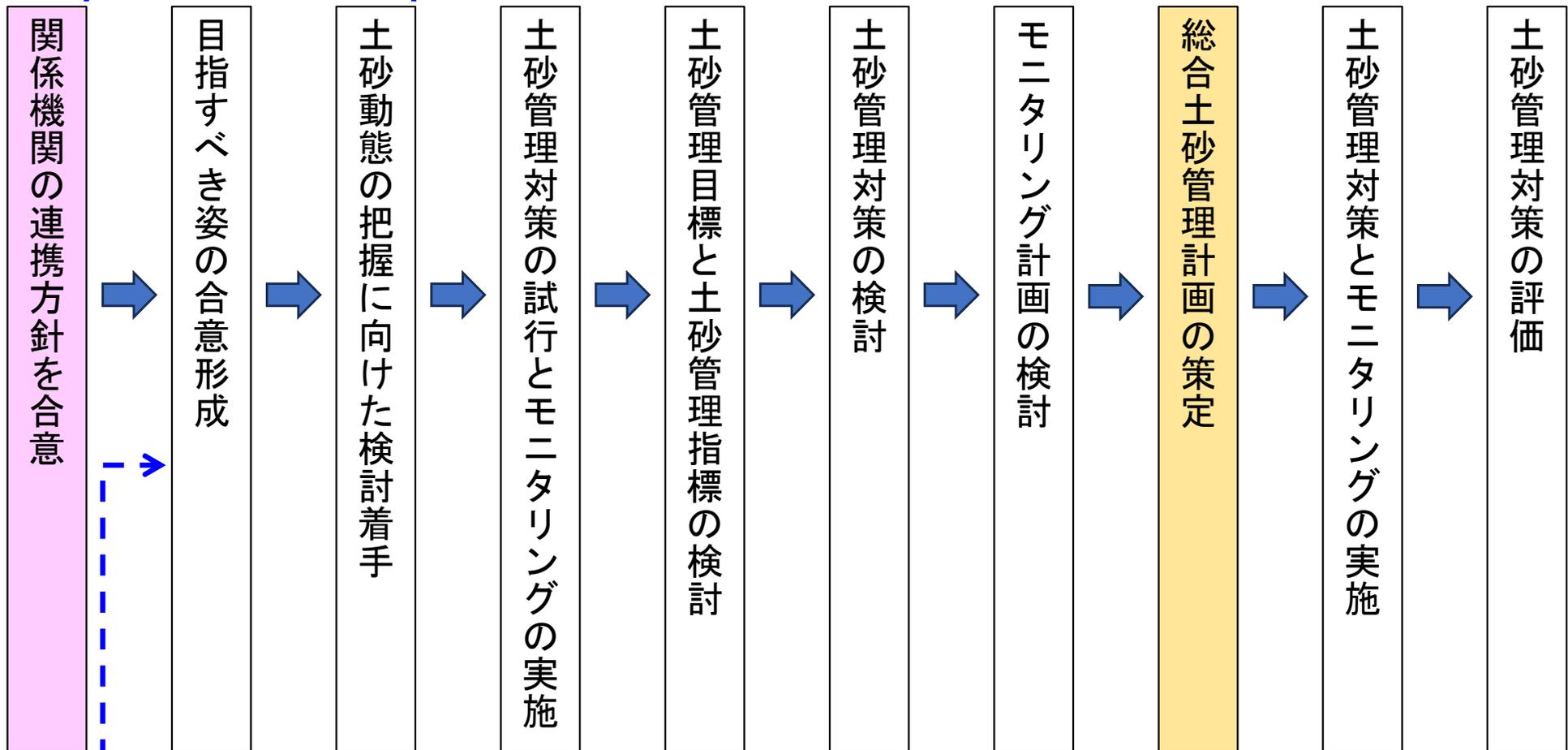
今後の検討の流れ

- 令和8年度に、物部川流砂系の目指すべき姿や土砂動態の把握に向けた検討を行う。
- 次年度以降に、土砂管理目標や土砂管理対策、モニタリング計画について検討を行い、総合土砂管理計画を策定する。
- 策定した計画に基づき、土砂管理対策とモニタリングを実施するとともに対策の評価を行う。
- 評価結果を踏まえて、総合土砂管理計画は適宜見直しを行う。

R7年度

R8年度

R9年度以降



見直し

- 一般的な総合土砂管理計画策定の検討項目を示す
- 検討項目は併行して実施する場合がある
- 計画策定に向け、担当者間での定期的な勉強会を実施する

- 総合土砂管理計画の策定に向けて、まず必要な検討としては、流砂系の「目指すべき姿」。
- そのためには、流砂系の各領域で把握が不足している「現状と課題」を様々な視点から再抽出を行い「現状と課題の再整理」を行う。
- 「現状と課題の再整理」を踏まえて、流砂系の「目指すべき姿」を明確にするとともに、「各領域における土砂動態の把握」に向けた検討を開始する。

(1) 流砂系の現状と課題の再整理

- ・ 流砂系における各領域特性の把握
- ・ 流砂系における現状と課題の把握
- ・ 流砂系が抱えている課題の要因整理



(2) 目指すべき姿の検討



(3) 各領域における土砂動態の把握

- ・ 土砂生産域～ダム領域
- ・ ダム領域～河口
- ・ 河口～海岸領域